

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-192414

(43)公開日 平成5年(1993)8月3日

(51)Int.Cl.⁵

A 6 1 N 1/05

識別記号

庁内整理番号

8718-4C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数11(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平4-279405

(22)出願日 平成4年(1992)9月22日

(31)優先権主張番号 9 1 0 2 7 7 8 - 9

(32)優先日 1991年9月25日

(33)優先権主張国 スウェーデン (S E)

(71)出願人 390039413

シーメンス アクチエンゲゼルシャフト

SIEMENS AKTIENGESELLSCHAFT

ドイツ連邦共和国 ベルリン 及び ミュンヘン (番地なし)

(72)発明者 ラルス-オロフ ベテルソン

スウェーデン国 16137 ブロンマ コルトラストフエーゲン 39

(72)発明者 ウルフ リンデグレン

スウェーデン国 12235 エンスケーデ
ダルガルズフエーゲン 34

(74)代理人 弁理士 富村 潔

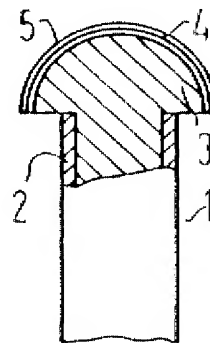
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 埋込み可能な医療装置

(57)【要約】

【目的】 所望量の薬剤の投与が簡単かつ確実に制御され得るようにする。

【構成】 本発明による埋込み可能な医療装置、例えば心臓ペースメーカー電極1は、埋込み後に患者の組織と結合する表面を有する。この表面の少なくとも一部分は薬剤から成る少なくとも1つの膜4が設けられる。薬剤膜4はイオン交換材料から成る少なくとも1つのイオン交換材料膜5によって覆われる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 埋込み後患者の組織と結合する表面を備え、この表面の少なくとも一部分には薬剤から成る少なくとも1つの膜が設けられる埋込み可能な医療装置において、薬剤膜(4)はイオン交換材料から成る少なくとも1つのイオン交換材料膜(5)によって覆われることを特徴とする埋込み可能な医療装置。

【請求項2】 医療装置は心臓刺激装置またはその一部分であることを特徴とする請求項1記載の埋込み可能な医療装置。

【請求項3】 医療装置は心臓刺激電極(1、7、9、10)であることを特徴とする請求項1または2記載の埋込み可能な医療装置。

【請求項4】 心臓刺激電極(1、7、9、10)は少なくとも1つの刺激表面を備えた心臓ペースメーカー電極であり、刺激表面だけに少なくとも1つの薬剤膜(4)が設けられ、この薬剤膜(4)は少なくとも1つのイオン交換材料膜(5)によって覆われることを特徴とする請求項3記載の埋込み可能な医療装置。

【請求項5】 刺激表面は微細多孔性材料から形成されることを特徴とする請求項4記載の埋込み可能な医療装置。

【請求項6】 心臓ペースメーカー電極(10)の電極ヘッド(6)は最大4mm²の表面を有することを特徴とする請求項4または5記載の埋込み可能な医療装置。

【請求項7】 医療装置は皮下注入ポンプであることを特徴とする請求項1記載の埋込み可能な医療装置。

【請求項8】 薬剤膜(4)とイオン交換材料膜(5)とは交互に多層にて前記表面に設けられることを特徴とする請求項1ないし7の1つに記載の埋込み可能な医療装置。

【請求項9】 薬剤膜(4)の厚みは0.5μm～4μm、特に2μmであることを特徴とする請求項1ないし8の1つに記載の埋込み可能な医療装置。

【請求項10】 イオン交換材料膜(5)の厚みは0.5μm～4μm、特に2μmであることを特徴とする請求項1ないし9の1つに記載の埋込み可能な医療装置。

【請求項11】 イオン交換材料膜(5)の厚みと薬剤膜(4)の厚みとは互いに依存せずに変更され得ることを特徴とする請求項1ないし10の1つに記載の埋込み可能な医療装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】本発明は、埋込み後患者の組織と結合する表面を備え、この表面の少なくとも一部分には薬剤から成る少なくとも1つの膜が設けられる埋込み可能な医療装置に関する。

【0002】

【従来の技術】この種の医療装置は米国特許第4711251号明細書によって公知である。この米国特許明細

書においては心臓ペースメーカー電極として記載されているこの医療装置は電極ヘッドが心臓壁に当接した際に炎症が起こるのを抑制する薬剤膜をその電極ヘッドに有している。このようにして電極ヘッドの領域における組織が線維状になるのが回避もしくは阻止される。薬剤膜の欠点は、電極ヘッドが心臓壁の最終位置に到達する前に、薬剤膜が埋込み時に体液と結合して少なくとも部分的に溶解する点である。

【0003】米国特許第4304591号明細書には、埋込みの際に使用され薬剤の支持体として使われる親水性ポリマー膜が記載されている。この場合にも同様に薬剤は体液と化合するとポリマー膜から不所望に溶解し得る。

【0004】ヨーロッパ特許出願公開第0388480号公報には、電極ヘッドに親水性ポリマーから成る膜が設けられ、この膜内には炎症が起こるのを抑制するステロイドが埋設されている心臓ペースメーカー電極が記載されている。このようにして、埋設された薬剤が早期に溶解するのが回避されるが、しかしながらこのステロイドの投与は制御するのが困難である。さらに、膜内に埋設され得る薬剤の量は大抵少ない。比較的多量の薬剤を必要とする場合、ポリマー膜は、電極ヘッドがもはや保持され得ない程厚く形成されなければならない。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、所望量の薬剤投与が簡単かつ確実に制御され得るような冒頭で述べた種類の埋込み可能な医療装置を提供することを課題とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】この課題は、本発明によれば、薬剤膜がイオン交換材料から成る少なくとも1つのイオン交換材料膜によって覆われることによって解決される。

【0007】

【作用効果】イオン交換材料膜は埋込みの際に薬剤膜を保護するのに役立つと共に、薬剤はイオン交換材料膜の厚みに依存せずに予め定められたようにイオン交換材料膜を通り抜けて投与される。

【0008】本発明の有利な実施態様によれば、医療装置は心臓刺激装置またはその一部分である。心臓刺激装置とは心臓ペースメーカーまたは心臓細動除去装置を意味している。

【0009】医療装置は同様に心臓刺激電極であり得る。心臓刺激電極とは心臓ペースメーカー電極または心臓細動除去電極を意味している。

【0010】本発明の有利な実施態様によれば、心臓刺激電極は少なくとも1つの刺激表面を備えた心臓ペースメーカー電極であり、その刺激表面だけに少なくとも1つの薬剤膜が設けられ、この薬剤膜は少なくとも1つのイオン交換材料膜によって覆われる。このような小さな

刺激表面においては、電極が埋込まれた際に所定量の薬剤がイオン交換材料膜を通して拡散し、それによって、この刺激表面の領域に線維状組織が形成されるのを阻止することが特に重要である。

【0011】医療装置の好ましい実施態様では、刺激表面が微細多孔性材料から形成されることが推奨される。このような材料は微細多孔性構造を持つ炭素または窒化チタンであり得る。これによって極めて小さい電極ヘッドを得ることができる。

【0012】本発明は電極ヘッドが最大4mm²の表面を有する心臓ペースメーカー電極と結び付けて有利に使用され得る。このような極めて小さい表面にも拘わらず、電極ヘッドを余り拡大することなく、充分な量の薬剤とイオン交換材料から成る被覆膜とを電極ヘッドに適用することができ、しかも、電極ヘッドの領域に炎症が起こるのを回避するために心臓壁へ導入し得る。

【0013】本発明の他の実施態様によれば、薬剤膜とイオン交換材料膜とは交互に多層にて前記表面に設けられる。それゆえ、患者の組織へ薬剤を長期に亘って永続的に投与することができる。さらに、イオン交換材料膜間に種々異なった種類の薬剤を介挿することができる。

【0014】本発明の他の好ましい実施態様によれば、イオン交換材料膜の厚みと薬剤膜の厚みとは互いに依存せずに変更され得る。これによって、薬剤量の投与の制御が簡単になる。

【0015】

【実施例】次に本発明の実施例を図面に基づいて詳細に説明する。

【0016】図1には心臓ペースメーカー電極1の末端部が一部断面にて示されている。電極1は絶縁材2と電極ヘッド3とを有し、電極ヘッド3は患者の心臓に刺激パルスを与える。電極ヘッド3の刺激表面は微細多孔性材料から形成され、この刺激表面には薬剤から成る膜4が設けられ、この膜4は親水性イオン交換材料から成る膜5によって覆われている。イオン交換材料膜5は電極を取付けた際および埋込み期間中に薬剤膜4を保護するのに役立つ。心臓ペースメーカー電極1が心臓壁に取付けられると、薬剤はイオン交換材料を通して拡散して心臓壁に到達し、場合によっては電極ヘッド3の領域の組織にしばしば炎症を惹き起こす組織反応を抑制する。薬剤膜4およびイオン交換材料膜5の厚みは0.5μm～4μm、好適には2μmである。上記膜4、5の厚みは互いに依存せずに変更され得る。薬剤膜を単一のイオン交換材料膜によって被覆することにより薬剤は所望通りイオン交換材料膜5を通して迅速に拡散する。複数のイオン交換材料膜が設けられると、薬剤の通り抜けが緩慢になる。イオン交換材料膜の厚みによって薬剤の投与速

度を規定することも可能である。電極1の刺激表面上に複数の薬剤膜を設けることによって、電極ヘッド3上に比較的多量の薬剤を支持させることができる。

【0017】図2には図1に示された電極1に似ている心臓ペースメーカー電極9が示されている。この図2においては、薬剤膜4とイオン交換材料膜5とは交互に多層にて刺激表面上に設けられている。このような構成により、薬剤を長期に亘って永続的に投与することが確保される。イオン交換材料膜間に異なった種類の薬剤を使用することも可能である。さもないと複数の種類の薬剤を混合する際配量が困難になる。

【0018】図3には表面が最大4mm²である電極ヘッド6を備えた心臓ペースメーカー電極10が示されている。このような小形電極ヘッドも同様に薬剤膜4を覆うイオン交換材料膜5によって比較的多量の薬剤を支持することができ、これらの薬剤は電極ヘッドの取付け個所に投与され得る。ヘッドは膜4、5が設けられているにも拘わらず小さく保たれる。

【0019】図4には多数の電極板8を備えたいわゆるパッチタイプの心臓細動除去電極7が示されており、この電極によって刺激パルスが心臓へ与えられる。この種の心臓細動除去電極7においては、電極板8の表面つまりパッチ電極の全面または両面にはイオン交換材料膜によって覆われている薬剤膜を設けることができる。図示されていない心内心臓細動除去電極にも同様に上記膜を設けることができる。

【0020】心臓ペースメーカーのケースもしくは心臓細動除去器のケースまたは皮下注入ポンプの容器にも同様に全体的または部分的に薬剤膜およびイオン交換材料膜を設けることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例を一部断面にて示す概略図。

【図2】本発明の第2実施例を一部断面にて示す概略図。

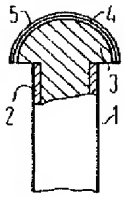
【図3】本発明の第3実施例を一部断面にて示す概略図。

【図4】本発明の第4実施例を示す概略図。

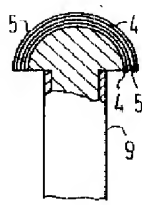
【符号の説明】

- 1、9、10 心臓ペースメーカー電極（心臓刺激電極）
- 2 絶縁剤
- 3、6 電極ヘッド
- 4 薬剤膜
- 5 イオン交換材料膜
- 7 心臓細動除去電極（心臓刺激電極）
- 8 電極板

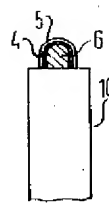
【図1】



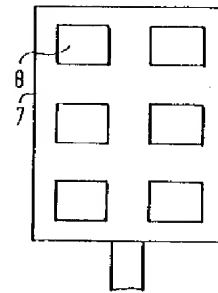
【図2】



【図3】



【図4】



フロントページの続き

(72)発明者 ブリギツテ シユトレートマン
 ドイツ連邦共和国 8525 ウツテンロイト
 シュライフヴェーク 19



US005345933A

United States Patent [19]
Peterson et al.

[11] **Patent Number:** **5,345,933**
 [45] **Date of Patent:** **Sep. 13, 1994**

[54] **IMPLANTABLE MEDICAL DEVICE WITH A PROTECTED MEDICATION LAYER**

[75] **Inventors:** Lars-Olof Peterson, Bromma; Ulf Lindegren, Enskede, both of Sweden; Brigitte Stroetmann, Uttenreuth, Fed. Rep. of Germany

[73] **Assignee:** Siemens Aktiengesellschaft, Munich, Fed. Rep. of Germany

[21] **Appl. No.:** 944,265

[22] **Filed:** Sep. 14, 1992

[30] **Foreign Application Priority Data**

Sep. 25, 1991 [SE] Sweden 91027789

[51] **Int. Cl.⁵** A61B 5/04

[52] **U.S. Cl.** 128/639; 604/20

[58] **Field of Search** 128/639, 640, 641, 644, 128/785, 785, 786; 604/20

[56] **References Cited**

U.S. PATENT DOCUMENTS

4,281,668 8/1981 Richter et al. 128/784
 4,281,669 8/1981 MacGregor 128/784
 4,304,591 12/1981 Mueller et al. 71/93
 4,336,811 6/1982 Beck et al. 128/784

4,577,642 3/1986 Stokes 128/784
 4,682,602 7/1987 Prohaska 128/784
 4,711,251 12/1987 Stokes 128/784
 4,722,726 2/1988 Sanderson et al. 604/20
 4,784,161 11/1988 Skalsky et al. 128/785
 5,087,243 2/1992 Avitall 604/20
 5,103,837 4/1992 Weidlich et al. 128/784
 5,135,480 8/1992 Bannon et al. 128/639
 5,169,383 12/1992 Gyory et al. 604/20

FOREIGN PATENT DOCUMENTS

WO86/00795 2/1986 PCT Int'l Appl. .

Primary Examiner—Jerome L. Kruter

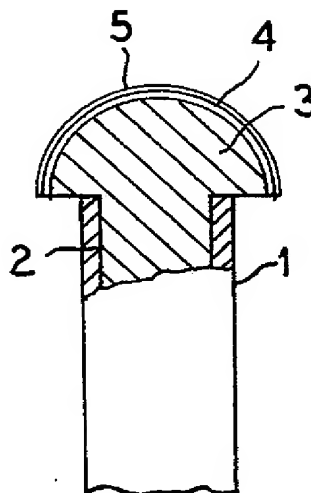
Attorney, Agent, or Firm—Hill, Steadman & Simpson

[57]

ABSTRACT

An implantable medical device has surfaces that are in communication with the tissue of the patient after an implantation. At least one part of these surfaces is provided with at least one layer composed of a medication. In order to simply and reliably control the administration of a desired quantity of the medication, the medication layer is covered by at least one layer composed of an ion exchanger material.

13 Claims, 1 Drawing Sheet



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-192414

(43)Date of publication of application : 03.08.1993

(51)Int.Cl.

A61N 1/05

(21)Application number : 04-279405

(71)Applicant : SIEMENS AG

(22)Date of filing : 22.09.1992

(72)Inventor : PETERSON LARS-OLOF
LINDEGREN ULF
STROETMANN BRIGITTE

(30)Priority

Priority number : 91 9102778 Priority date : 25.09.1991 Priority country : SE

(54) EMBEDDABLE MEDICAL DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To easily and securely control the administration at a desirable quantity of medicine.

CONSTITUTION: An embeddable medical device of this invention such as a heart pace maker electrode 1 has a surface to be connected to the tissue of a patient. At least a part of this surface is provided with at least one film 4 formed of a medicine. The medical film 4 is covered with at least one ion exchange material film 5 formed of the ion exchange material.



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-192414

(43)公開日 平成5年(1993)8月3日

(51)Int.Cl.⁵

A 6 1 N 1/05

識別記号

庁内整理番号

8718-4C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数11(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平4-279405

(22)出願日 平成4年(1992)9月22日

(31)優先権主張番号 9 1 0 2 7 7 8 - 9

(32)優先日 1991年9月25日

(33)優先権主張国 スウェーデン (S E)

(71)出願人 390039413

シーメンス アクチエンゲゼルシャフト

SIEMENS AKTIENGESELLSCHAFT

ドイツ連邦共和国 ベルリン 及び ミュンヘン (番地なし)

(72)発明者 ラルス - オロフ ベテルソン

スウェーデン国 16137 ブロンマ コル
トラストフエーゲン 39

(72)発明者 ウルフ リンデグレン

スウェーデン国 12235 エンスケーデ
ダルガルズフエーゲン 34

(74)代理人 弁理士 富村 潔

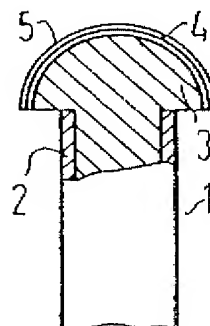
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 埋込み可能な医療装置

(57)【要約】

【目的】 所望量の薬剤の投与が簡単かつ確実に制御され得るようにする。

【構成】 本発明による埋込み可能な医療装置、例えば心臓ペースメーカー電極1は、埋込み後に患者の組織と結合する表面を有する。この表面の少なくとも一部分は薬剤から成る少なくとも1つの膜4が設けられる。薬剤膜4はイオン交換材料から成る少なくとも1つのイオン交換材料膜5によって覆われる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 埋込み後患者の組織と結合する表面を備え、この表面の少なくとも一部分には薬剤から成る少なくとも1つの膜が設けられる埋込み可能な医療装置において、薬剤膜（4）はイオン交換材料から成る少なくとも1つのイオン交換材料膜（5）によって覆われることを特徴とする埋込み可能な医療装置。

【請求項2】 医療装置は心臓刺激装置またはその一部分であることを特徴とする請求項1記載の埋込み可能な医療装置。

【請求項3】 医療装置は心臓刺激電極（1、7、9、10）であることを特徴とする請求項1または2記載の埋込み可能な医療装置。

【請求項4】 心臓刺激電極（1、7、9、10）は少なくとも1つの刺激表面を備えた心臓ペースメーカー電極であり、刺激表面だけに少なくとも1つの薬剤膜

（4）が設けられ、この薬剤膜（4）は少なくとも1つのイオン交換材料膜（5）によって覆われることを特徴とする請求項3記載の埋込み可能な医療装置。

【請求項5】 刺激表面は微細多孔性材料から形成されることを特徴とする請求項4記載の埋込み可能な医療装置。

【請求項6】 心臓ペースメーカー電極（10）の電極ヘッド（6）は最大4mm²の表面を有することを特徴とする請求項4または5記載の埋込み可能な医療装置。

【請求項7】 医療装置は皮下注入ポンプであることを特徴とする請求項1記載の埋込み可能な医療装置。

【請求項8】 薬剤膜（4）とイオン交換材料膜（5）とは交互に多層にて前記表面に設けられることを特徴とする請求項1ないし7の1つに記載の埋込み可能な医療装置。

【請求項9】 薬剤膜（4）の厚みは0.5μm～4μm、特に2μmであることを特徴とする請求項1ないし8の1つに記載の埋込み可能な医療装置。

【請求項10】 イオン交換材料膜（5）の厚みは0.5μm～4μm、特に2μmであることを特徴とする請求項1ないし9の1つに記載の埋込み可能な医療装置。

【請求項11】 イオン交換材料膜（5）の厚みと薬剤膜（4）の厚みとは互いに依存せずに変更され得ることを特徴とする請求項1ないし10の1つに記載の埋込み可能な医療装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、埋込み後患者の組織と結合する表面を備え、この表面の少なくとも一部分には薬剤から成る少なくとも1つの膜が設けられる埋込み可能な医療装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 この種の医療装置は米国特許第4711251号明細書によって公知である。この米国特許明細

書においては心臓ペースメーカー電極として記載されているこの医療装置は電極ヘッドが心臓壁に当接した際に炎症が起こるのを抑制する薬剤膜をその電極ヘッドに有している。このようにして電極ヘッドの領域における組織が線維状になるのが回避もしくは阻止される。薬剤膜の欠点は、電極ヘッドが心臓壁の最終位置に到達する前に、薬剤膜が埋込み時に体液と結合して少なくとも部分的に溶解する点である。

【0003】 米国特許第4304591号明細書には、埋込みの際に使用され薬剤の支持体として使われる親水性ポリマー膜が記載されている。この場合にも同様に薬剤は体液と化合するとポリマー膜から不所望に溶解し得る。

【0004】 ヨーロッパ特許出願公開第0388480号公報には、電極ヘッドに親水性ポリマーから成る膜が設けられ、この膜内には炎症が起こるのを抑制するステロイドが埋設されている心臓ペースメーカー電極が記載されている。このようにして、埋設された薬剤が早期に溶解するのが回避されるが、しかしながらこのステロイドの投与は制御するのが困難である。さらに、膜内に埋設され得る薬剤の量は大抵少ない。比較的多量の薬剤を必要とする場合、ポリマー膜は、電極ヘッドがもはや保持され得ない程度厚く形成されなければならない。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、所望量の薬剤投与が簡単かつ確実に制御され得るような冒頭で述べた種類の埋込み可能な医療装置を提供することを課題とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】 この課題は、本発明によれば、薬剤膜がイオン交換材料から成る少なくとも1つのイオン交換材料膜によって覆われることによって解決される。

【0007】

【作用効果】 イオン交換材料膜は埋込みの際に薬剤膜を保護するのに役立つと共に、薬剤はイオン交換材料膜の厚みに依存せずに予め定められたようにイオン交換材料膜を通り抜けて投与される。

【0008】 本発明の有利な実施態様によれば、医療装置は心臓刺激装置またはその一部分である。心臓刺激装置とは心臓ペースメーカーまたは心臓細動除去装置を意味している。

【0009】 医療装置は同様に心臓刺激電極であり得る。心臓刺激電極とは心臓ペースメーカー電極または心臓細動除去電極を意味している。

【0010】 本発明の有利な実施態様によれば、心臓刺激電極は少なくとも1つの刺激表面を備えた心臓ペースメーカー電極であり、その刺激表面だけに少なくとも1つの薬剤膜が設けられ、この薬剤膜は少なくとも1つのイオン交換材料膜によって覆われる。このような小さな

刺激表面においては、電極が埋込まれた際に所定量の薬剤がイオン交換材料膜を通して拡散し、それによって、この刺激表面の領域に線維状組織が形成されるのを阻止することが特に重要である。

【0011】医療装置の好ましい実施態様では、刺激表面が微細多孔性材料から形成されることが推奨される。このような材料は微細多孔性構造を持つ炭素または窒化チタンであり得る。これによって極めて小さい電極ヘッドを得ることができる。

【0012】本発明は電極ヘッドが最大4mm²の表面を有する心臓ペースメーカー電極と結び付けて有利に使用され得る。このような極めて小さい表面にも拘わらず、電極ヘッドを余り拡大することなく、充分な量の薬剤とイオン交換材料から成る被覆膜とを電極ヘッドに適用することができ、しかも、電極ヘッドの領域に炎症が起こるのを回避するために心臓壁へ導入し得る。

【0013】本発明の他の実施態様によれば、薬剤膜とイオン交換材料膜とは交互に多層にて前記表面に設けられる。それゆえ、患者の組織へ薬剤を長期に亘って永続的に投与することができる。さらに、イオン交換材料膜間に種々異なった種類の薬剤を介挿することができる。

【0014】本発明の他の好ましい実施態様によれば、イオン交換材料膜の厚みと薬剤膜の厚みとは互いに依存せずに変更され得る。これによって、薬剤量の投与の制御が簡単になる。

【0015】

【実施例】次に本発明の実施例を図面に基づいて詳細に説明する。

【0016】図1には心臓ペースメーカー電極1の末端部が一部断面にて示されている。電極1は絶縁材2と電極ヘッド3とを有し、電極ヘッド3は患者の心臓に刺激パルスを与える。電極ヘッド3の刺激表面は微細多孔性材料から形成され、この刺激表面には薬剤から成る膜4が設けられ、この膜4は親水性イオン交換材料から成る膜5によって覆われている。イオン交換材料膜5は電極を取付けた際および埋込み期間中に薬剤膜4を保護するのに役立つ。心臓ペースメーカー電極1が心臓壁に取付けられると、薬剤はイオン交換材料を通して拡散して心臓壁に到達し、場合によっては電極ヘッド3の領域の組織にしばしば炎症を惹き起こす組織反応を抑制する。薬剤膜4およびイオン交換材料膜5の厚みは0.5μm〜4μm、好適には2μmである。上記膜4、5の厚みは互いに依存せずに変更され得る。薬剤膜を単一のイオン交換材料膜によって被覆することにより薬剤は所望通りイオン交換材料膜5を通して迅速に拡散する。複数のイオン交換材料膜が設けられると、薬剤の通り抜けが緩慢になる。イオン交換材料膜の厚みによって薬剤の投与速

度を規定することも可能である。電極1の刺激表面上に複数の薬剤膜を設けることによって、電極ヘッド3上に比較的多量の薬剤を支持させることができる。

【0017】図2には図1に示された電極1に似ている心臓ペースメーカー電極9が示されている。この図2においては、薬剤膜4とイオン交換材料膜5とは交互に多層にて刺激表面上に設けられている。このような構成により、薬剤を長期に亘って永続的に投与することが確保される。イオン交換材料膜間に異なった種類の薬剤を使用することも可能である。さもないと複数の種類の薬剤を混合する際配量が困難になる。

【0018】図3には表面が最大4mm²である電極ヘッド6を備えた心臓ペースメーカー電極10が示されている。このような小形電極ヘッドも同様に薬剤膜4を覆うイオン交換材料膜5によって比較的多量の薬剤を支持することができ、これらの薬剤は電極ヘッドの取付け個所に投与され得る。ヘッドは膜4、5が設けられているにも拘わらず小さく保たれる。

【0019】図4には多数の電極板8を備えたいわゆるパッチタイプの心臓細動除去電極7が示されており、この電極によって刺激パルスが心臓へ与えられる。この種の心臓細動除去電極7においては、電極板8の表面つまりパッチ電極の全面または両面にはイオン交換材料膜によって覆われている薬剤膜を設けることができる。図示されていない心内心臓細動除去電極にも同様に上記膜を設けることができる。

【0020】心臓ペースメーカーのケースもしくは心臓細動除去器のケースまたは皮下注入ポンプの容器にも同様に全体的または部分的に薬剤膜およびイオン交換材料膜を設けることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例を一部断面にて示す概略図。

【図2】本発明の第2実施例を一部断面にて示す概略図。

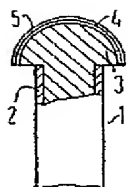
【図3】本発明の第3実施例を一部断面にて示す概略図。

【図4】本発明の第4実施例を示す概略図。

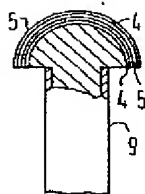
【符号の説明】

- 1、9、10 心臓ペースメーカー電極（心臓刺激電極）
- 2 絶縁剤
- 3、6 電極ヘッド
- 4 薬剤膜
- 5 イオン交換材料膜
- 7 心臓細動除去電極（心臓刺激電極）
- 8 電極板

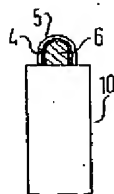
【図 1】



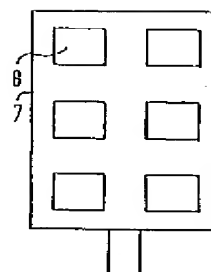
【図 2】



【図 3】



【図 4】



フロントページの続き

(72)発明者 ブリギツテ シュートレートマン
ドイツ連邦共和国 8525 ウツテンロイト
シュライフヴェーク 19